

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 20 号	氏名	高井 秀明
学位審査委員	主査	矢野 捷介	
	副査	相川 忠臣	
	副査	澄川 耕二	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は、新しく作成した低侵襲人工心肺の心臓手術における有用性を、周術期の凝固線溶系、炎症系サイトカインの動態観察によって検討するもので、目的は十分妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>冠動脈バイパス手術例を、低侵襲人工心肺群と従来の人工心肺群に分け、麻酔導入時から術後 24 時間目まで線溶系の Thrombin-Antithrombin III (TAT)、炎症系の Complement factor (C3a)、Interleukin 10 (IL-10) などを経時的に測定しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、心臓手術において低侵襲人工心肺を使用すると、周術期の凝固線溶系および炎症系サイトカインに対する影響が従来の人工心肺を使用するよりも少ないことが明らかになり、心臓手術手技や術後管理などにおける今後の向上が大いに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は人工心肺を用いる心臓手術の安全性向上に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			